

みんなの鳥獣対策

町のブランドタマネギである、「^{はま}浜の輝^{かがやき}」が町内から続々と出荷されています。
今回は、町内で「浜の輝」を生産している農家さんにお話を伺いました。

浜の輝を収穫するまで

- 2023**
- 9月**
 - 種まき
 - イノシシによる種の掘り起こし
 - 再度苗の移植
 - 10月**
 - 抑草剤の散布
- 2024**
- 1月**
 - 電気柵の設置
 - 3月～4月**
 - 消毒
 - 5月**
 - 畦畔除草剤散布
 - 6月**
 - 収穫

■イノシシ対策のきっかけは
昨年9月末にタマネギ「浜の輝」の種まきを行いました。その翌日、イノシシの侵入により、せっかくなかった種がすべて廃棄となりました。まるで夢が砕けたような気持ちでしたが、

再度の被害を防ぐために、役場から電気柵を借り、設置しました。電気線は地面から20cm、40cm、60cmの高さに設置し、設置後はイノシシの侵入を効果的に防ぐことができました。時折、畑に中型動物の足跡が見られましたが、タマネギへの被害はありませんでした。電気柵の漏電を防ぐために、下草の除草計画を立て、電気柵の効果を最大限に発揮させるよう努めました。



加倉生産組合 阿部 仁一さん
タマネギの生産は今年で8年目になりました。

■電気柵設置の効果と管理は

育苗施設から苗を分けてもらい、再度移植を実施しました。同じ被害に遭わないためには、対策を講じなければならぬと感じました。

■除草の方法は

タマネギを生産するうえで除草は重要です。苗の移植が完了後10月中旬に、雑草の成育を抑制する薬をまきました。これが4月まで効果を発揮し、雑草の成育が抑制されました。また、収穫前の5月ごろにも雑草が電気柵に触れないように畦畔に除草剤を散布しました。



除草された畦畔

■畑の使い方のポイントは

この畑は端から少し余白を設けて作付けを行っています。これは、作業用の機械の転回スペースを確保するだけでなく、動物が奥まで入らないと食べられないようにし、被害を受けづらくしています。管理できるだけ生産するということがポイントです。



とれたての「浜の輝」

■「浜の輝」の魅力は

このタマネギは、苦労と工夫の結晶であり、その味わいと品質には自信があります。ぜひ一度、「浜の輝」を手に取り、そのおいしさを実感していただきたいと思います。昔から作物生産が好きでした。これからも工夫をしながら、皆さんに野菜をお届けしたいと思っています。



「畑の使い方のポイント」
畑に余白を残して生産

「浜の輝」は、道の駅なみえやイオン浪江店でも販売しています。



伸び始めた苗が病気にならないよう、定期的に消毒。



電気柵は1月末に設置。



除草剤はトラクターを使って一気に散布。



葉が伸びてきてここから一気に成長。



苗が倒れたら、葉切りして掘り起こし、乾燥したら収穫。

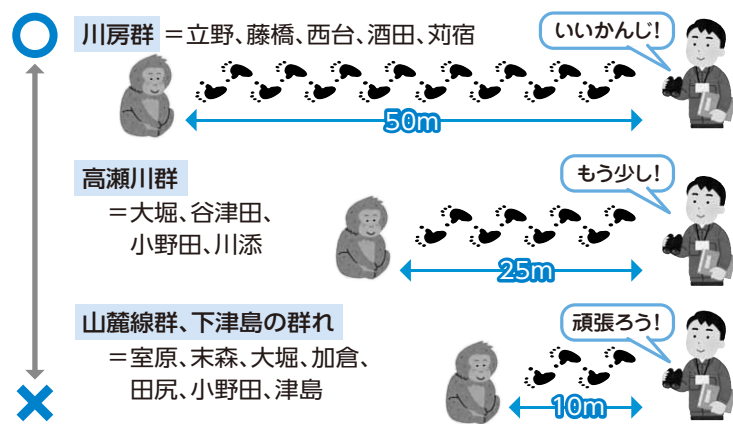
「浜の輝」ができるまで

スーパーではおなじみのタマネギ。町内でもたくさん作られている作物の1つですが、生産過程について知っていますか。ここではタマネギ生産の過程と、それにかかわる仕事の一部をご紹介します。



町内サルの人慣れ度を知ろう (群れごとに記載)

一般的に、人がサルを追いかけた時、50m以上距離をとるなら、サルは人に慣れていないと言えます。皆さんの地域のサルはどれくらい人に慣れているか、確認してみましょう。



こまめな 見回りと追い払いを!

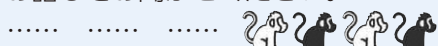
町では毎年7月ごろから、サルによる被害が増えます。これは、サルが皆さんのおいしい夏野菜を収穫間際に狙っているためです。サルは叱られないと何度でも悪さを繰り返します。

そこで、サルから野菜を守るためには、こまめな見回りをしてサルを追いかけることが重要です。簡単な追い払いを何度かするだけで、サルは畑に近寄らなくなります。



町では有害鳥獣対策に取り組む皆さんをサポートしていきます。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。



問 農林水産課農林水産係
TEL 0240 (34) 0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与 (出荷を目的とした農地に限る)

追い払い花火の配布

鳥獣被害に関する勉強会



町ホームページ
でもご覧いただけます